

**中東情勢の現状と行方**  
**～資源エネルギー・金融情勢の動向を左右する大国間パワーゲーム～**

南西アジア担当研究員 益田哲夫

**<課題・関心事項>**

- ① イランの内外情勢と核開発をめぐる欧米諸国の動き
- ② レバノン情勢をめぐるイラン・シリア陣営とアラブ諸国の対立構造
- ③ パキスタン情勢の推移を見守る湾岸諸国、欧米、中国そして経済関係強化を図る中国、インド
- ④ アフガニスタン内外情勢と地域情勢の安定と過激派勢力の動向
- ⑤ 中東地域での影響力拡大の再興を図るロシアン・パワー：新たな対立構図を創出か

**<解説>**

上記①イランの内外情勢と核開発をめぐる欧米諸国の動きについて

イランでは、大統領選挙に向けた諸派間の対立構造が明らかになっている。国内では、同国の核政策に対する経済制裁の影響が強まり、大統領に対する批判も急速に拡大している。このような中で、核開発問題をはじめ、急進派による武力挑発は米英などによる軍事制裁の可能性が、不透明な情勢をもたらしている。

上記② レバノン情勢をめぐるイラン・シリア陣営とアラブ諸国の対立構造について

レバノン情勢は、内戦勃発の状況を呈していたが、その裏にはイラン・シリアの思惑がある。そして、両国の台頭を食い止めようとするアラブ穏健派諸国との対立構図が問題の背景にある。対イスラエル戦略も見え隠れ。

上記③ パキスタン情勢の推移を見守る湾岸諸国、欧米、中国そして経済関係強化を図る中国、インドのパワーゲームについて

パキスタンの連立政権内の対立が解消される見通しがあるのか。同国の政治的安定は、湾岸諸国のオイルマネーを引き入れ、経済的な躍進を図れるかの鍵となる。新政権は、過激派勢力との和解を進めようとしているが、米国との「対テロ戦争」路線で、対立している。このような中で、中国の対パキスタン支援は、急速に拡大している。その動きが注視される。

上記④ アフガニスタン内外情勢と地域情勢の安定と過激派勢力の動向について

アフガニスタンの治安の安定は、パキスタン情勢の推移とリンクしている。アルカイダ、タリバン勢力と NATO 軍等との戦闘状態がどのように推移するのか、イラク情勢の推移と共に注目される。

上記⑤ 中東地域での影響力拡大の再興を図るロシアン・パワー：新たな対立構図を創出かについて

ロシアによる中東諸国への武器売却が加速させ、新たなパワーゲームの到来か。